

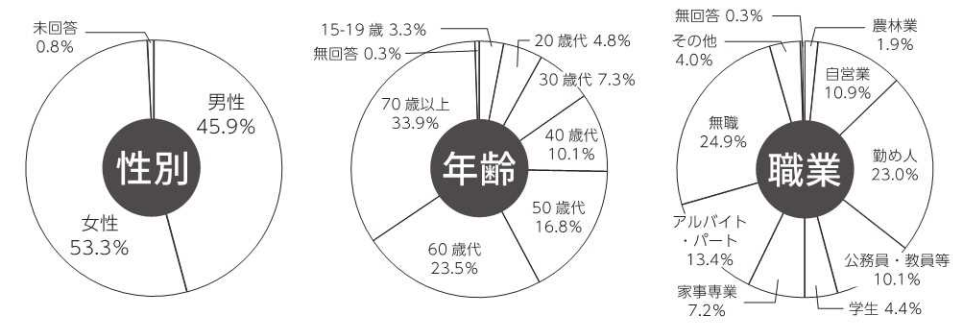
まちづくりアンケート
調査結果をお知らせします

令和5年度から4年間のまちづくりの指針として「第2次与謝野町総合計画・後期基本計画」を策定しました。20年先、30年先を見据えた未来志向のまちづくりをさらに進めていくため、住民の皆さんが今、どのように感じているのか把握することを目的に、無作為に選んだ2,000人の方を対象にアンケートを実施しました。今月号では、主な項目について調査結果の概要を紹介します。

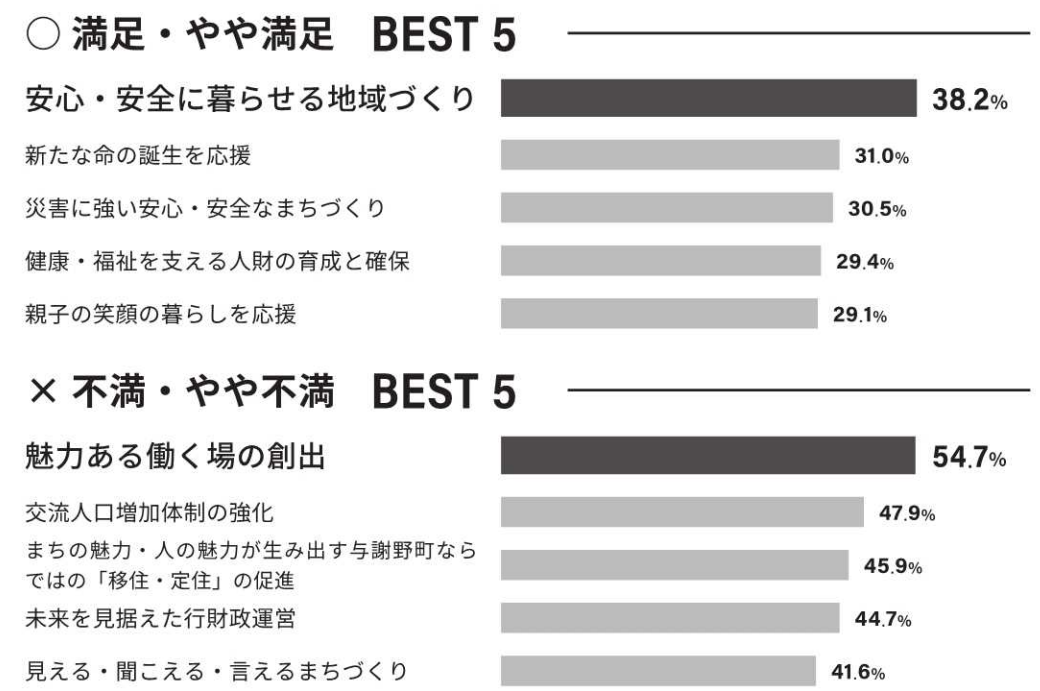
企画財政課 ☎ 43-9015

アンケート調査の概要と回答者の内訳

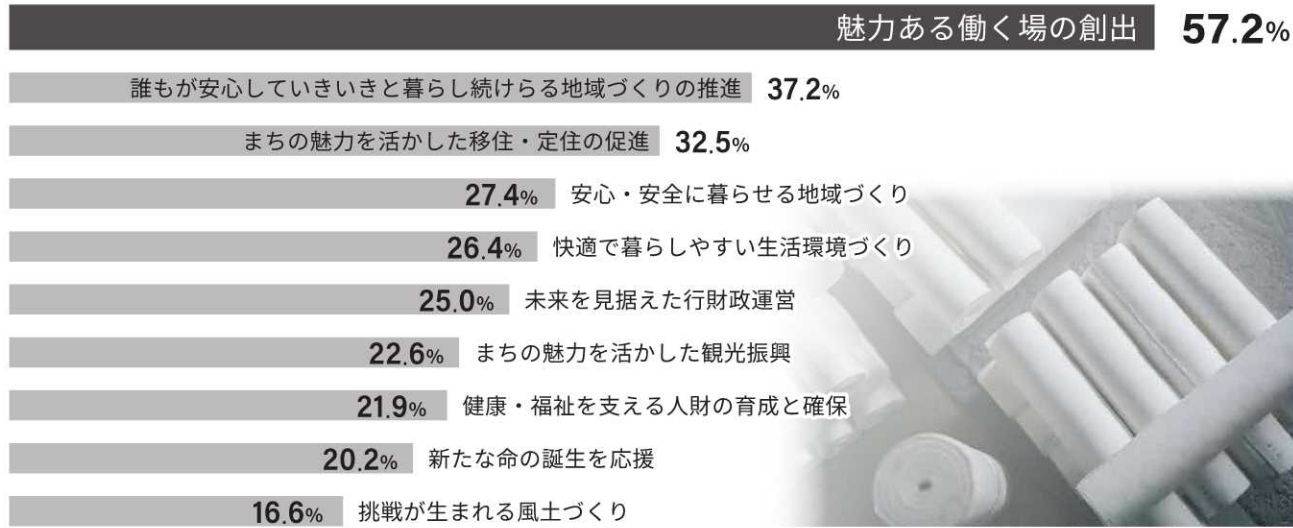
- 調査対象 15歳以上の町民から2,000人の方を無作為に抽出
- 調査方法 郵送による配布および回収（オンライン回答可）
- 期間 令和5年7月15日（土）～8月10日（木）
- 回収状況 【回収数】549件【回収率】32.2%
【回答数】643件（うち、インターネット回答94件）
※ 前回の令和4年度調査…【回収数】627件【回収率】31.4%



与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりの満足度



これから進めるまちづくりについて特に力を入れる施策 BEST 10

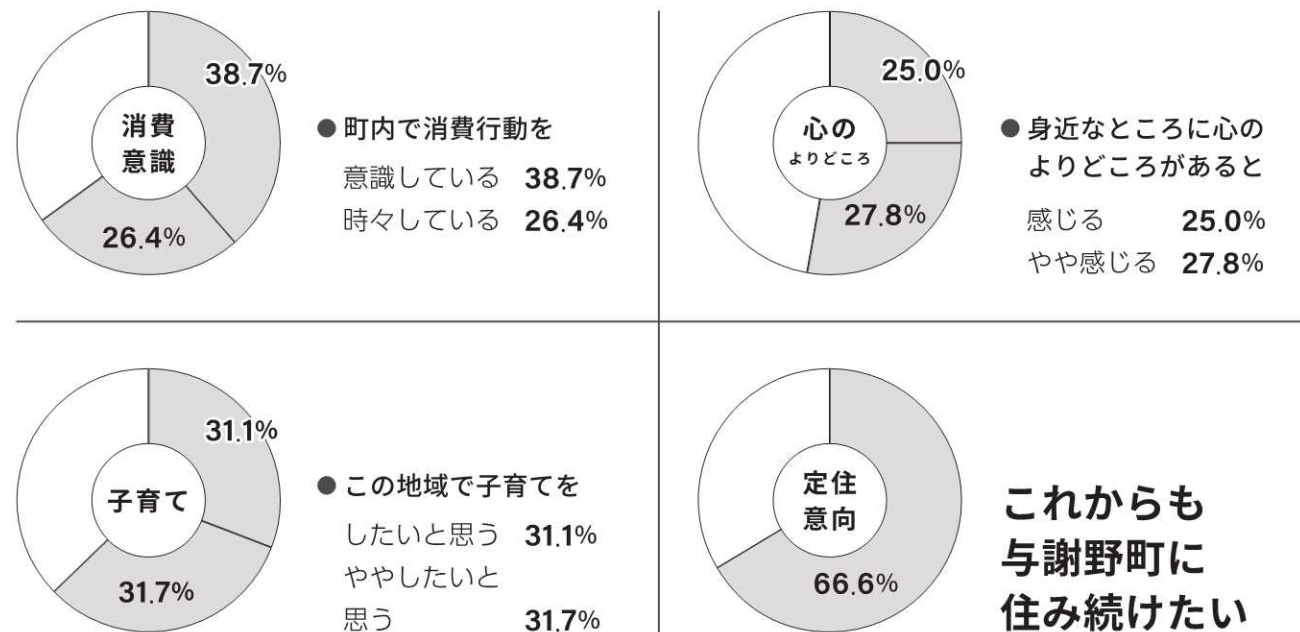


全世代で「魅力ある働く場の創出」がトップに

特に力を入れる施策では、「魅力ある働く場の創出」が最も多く、全世代においても最も多くなっています。次いで、15～19歳と20歳代は「新たな命

の誕生を応援」、30歳代と50歳代は「まちの魅力を活かした移住・定住の促進」、40歳代は「まちの魅力を活かした観光振興」、60歳以上は「誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進」が多くなっています。

町内での行動・意識について



「これからも与謝野町に住み続けたい」が66.6%（前回69.5%）と前回調査よりも減少していますが、Uターン移住などを含めた定住意向は前回調査と差はありません。一方で「町外へ転出したい」が30歳代で17.0%（前回6.7%）、40歳代で16.9%

（前回6.0%）と増加傾向にあります。「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が15～19歳、20歳代では多い傾向は変わらず、進学や就職などで離れる可能性がありつつも、いつか戻ってきたいという考えがあることがわかります。

調査結果の詳細は、町ホームページで公開しています。

